



シルバーだより

No. 264

平成 24 年 6 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

～ 一本のカーネーション ～

学 長 稲川君江

すき通る様な美しい新緑の季節もあっという間に通り過ぎ、早や初夏のたたずまいとなりました。先月の「母の日」の主演を果たしていたカーネーションにまつわる話をします。カーネーションは、今や一年中私達の日常生活の中で、華やかに飾りの役割を果たしてくれています。季節の花としては考えにくくなっているカーネーションですが、本来は「夏の花」なのです。

さて、私が低学年を担当していた 40 年も前の頃の事です。私はクラスの子ども達に、明日の日曜日は母の日です。日頃お世話になっているお母さんに“自分がしてあげられる事を考えておきましょう”と課題を出しておきました。



次の日、課題を出しておいた母の日に自分がした事を作文に書いてもらいました。クラスの中に元気いっぱいのやんちゃな K 君という男の子がいました。みんな一生懸命書いています。普段の K 君なら「母の日の事は忘れてしまったよ。書く事ないよ。」といっても不思議ではありません。でも K 君も熱心に書いています。

以下、「K 君の略文」

僕は毎日お小遣いを使ってしまうのであまりお金はありませんでしたが、近所の花屋のおばさんにおまけをしてもらい、赤いカーネーションを一本買いました。おばさんはきれいな紙に包んで、リボンもつけてくれました。僕は嬉しくなって走って家へ帰りました。「おかあさん」と呼びました。「はい、これ」と差し出しました。お母さんは、にこにこして、リボンをとって包み紙を開きました。中には何も入っていませんでした。花屋さんから家まで、全速力で走ってきたので、途中でカーネーションが落ちてしまいました。さがしに戻ると道端に僕のカーネーションが落ちていました。……以下省略。

ずいぶん昔の日の作文なのに、今でも鮮明によみがえってきます。それは K 君が日頃やさしくしてくれる母親への感謝や思いが、「ありがとう」という言葉がなくても母親へしっかりと伝えられています。母親の様子は書かれていないのに母親の表情や心が連想できて私の顔がほころんできます。

たった一本のカーネーションですが、大きな役割を果たしています。

被災者の声（その2）

No. 263号（その1）！ 読んでいただけましたか？

今回は福島県富岡町の東電第一原発の事故のため避難してきた、^{おぬき}小貫和洋様のお話

小貫様は20km圏内の警戒区域から避難して来られました。富岡町は、太平洋に面していて自宅からは10km、警戒区域の中にある町だそうです。

地震が起きた時は避難の警報も鳴らなかったもので、町の人達は家の片付けをしていて、こんな大変な事になるとは誰も思わなかった。

避難警報が鳴ったのは3時半頃「避難してください」と通報されてもどの位危険なのかも知らされぬまま避難してきました。昭和45年東電福島第一原発1号機が運転しました。（6号機は53年に運転）富岡町は出稼ぎをして家計を立てていた人が多かったので、一旦事が起きた時の対応の仕方は、誰も分からぬまま、働く場所が出来たと、大勢の人が其の場所に携わりました。今は放射線の濃度で危険区域が区切られています、本当に大丈夫と云うのは、80km先だと云っています。何十年たったら安全と云えるのか、自分の家には戻れそうにありません。一生懸命働いて建てた家も、帰った時は土足のまま入っています。と・・・どんなにか空しい気持ちだろうと思いました。今友達がドキュメンタリー映画を作っているので協力しています。機会がありましたら、シルバー大学の皆さんにも見て頂きたいとおっしゃっていました。是非見せてくださいとお願いいたしました。小貫様は子供さんが東京に居るので、帰る事は考えてないとおっしゃっていました。失礼しようと思って立ちあがったら、名刺を出して私の故郷の桜並木ですと見せて下さいました。そこには満開の桜並木が写っていました。見てくれる人はいないけれど、今年もきっと美しい桜を咲かせてくれるでしょう。望郷の思いが伝わり、切なく胸に迫りました。（広報部）

講師による教室紹介Ⅱ・・・投稿順

自分史教室（原田治子先生）

先を急ぐことはない。道草をしながらしあわせをたくさん味わって、人生の出口までゆっくり歩いていこうね。こんな雰囲気のある自分史教室です。在籍45名、開講20年目。90代～60代、考えただけでもこの時代の変化は激しい。だからこそ、教室を共にできた仲間の多岐にわたる自分史に出会い、感銘・感動・発見、そして人間愛がふくらむ。教室でのこの体験は、「これまで・現在・これから」さて私はどこを書こうかなーとなるのです。

写真教室（戸叶恒夫先生）

第一期生としての入学、おめでとうございます。今日、デジタルカメラの進歩は目ざましく、だれでもきれいな写真を撮ることが出来ます。生活学習としての本教室は、



- ① 皆さんの仲間づくりのお手伝いをする。
- ② 撮影場所を紹介し、皆で楽しく撮影する。
- ③ 撮影した写真をプリントにして学びあう。

の三点を目標にスタートします。まずは、美しいと感じたもの、「気になるもの」など、どんどんシャッターを押すことです。

フラダンス教室（佐々木時子先生）

今年で6年目を迎えました。最近フラ人口も増え幅広い年齢の方々に愛されています。ゆったりした中にしっかりとした運動量があり健康にも頭の体操にも大変良いとされています。今年も皆さんとハワイアン音楽に癒され、楽しく授業を進めていきたいと思っています。

英語教室（木村國子先生）

英語クラスには、様々な目的を持って生徒が集まって来ます。戦時中で英語が満足に学べなかった人、海外旅行が好きな人、身内が海外にいる人、学んだ英語をリフレッシュしたい人、英語の本を読んだり、英語の歌を歌ってみたい人等。これら総ての希望に応えたいと、年間計画を立てて授業を進めています。

クラスの自慢は、皆、生き生き、優しく助け合って、来るのが楽しくなるクラスです。

絵画と創作教室（藤島久子先生）

創作とは何をするか戸惑うというご意見を多数耳にしました。内容は、鉛筆、絵具、パステル等、自由に組み合わせ、一つの世界を創ります。よく言われる、下手だからという言葉は、この世界にはありません。すべて個性（その方の持ち味）の表現だからです。紙の他に、木、石、粘土作品等に、季節に合わせて家のどこかに置いて楽しく、なごめるものを創ります。

途中からでも結構です。軽い気持ちで、いつでも覗いて見て下さい。

頭の体操教室（水越絹代先生）

平成24年度も簡単な「読み・書き・計算」を中心にして、インド式の足し算や引き算などで凝り固まった頭に刺激を与えていきましょう。ひとりでは中々続かないことでも、教室に来てみんなでやっていると不思議なもので、楽しくて続いていくものなのです。お互いに刺激を与え合いながら、前向きな気持ちで生きていけることを目指して今年もお勉強していきましょう。

音楽教室（飯島純子先生）

今迄何かテーマを決めて選曲し、一年間練習することが多くありました。例えば『植物』『川』に関連する歌や「日本の歌」など。今期はその様な“お題”にこだわらず過去に歌った財産の中から「あなたの心に」「さが野の尼寺」などをとり上げます。また、この所ずっと歌い続けている「サウンド・オブ・ミュージック」ですが、全曲挑戦しようと、残る曲の中から「ドレミの歌」と「おやすみなさい」に挑戦いたします。

書道・初級教室（八嶋セツ子先生）

小野道風（平安の三蹟）は、字が下手でしたが、蛙が懸命に柳に飛びつく姿を見て「なんども練習をしなくてはいけない」と悟ったそうです。今年の初級クラスの目標は、一ヶ月 200 枚以上書くことです。多く書くことによって上達を感じ、書くことが楽しくなるような教室にしていきたいです。また、当地は美術館や博物館が近いので、いいものを見、本物に触れて目を肥やし、意欲につなげていきたいと思ひます。

.....

6月の予定

期日	行事内容	講師
21日(木)	合同講義：講師による講義 ＝ご期待ください！＝	池田（朗読）・石崎（絵本） 染山（茶道）・立川（料理） 上記、4名の先生
会場：サンパール荒川 三階 小ホール 時間：午後2時より		

◆◆◆◆ 学園日誌（5月） ◆◆◆◆

5月 7日	常任理事会・役員会 (開講式反省他)	24日	第一回講義「基礎自治体から 基幹自治体へ」 講師 区長 西川太一郎様
11日	予算委員会		
16日	講義打合せサンパール	29日	広報委員会
19日	真土教室使用願提出	30日	シルバー便り 264号発行
24日	23年度 会計監査	31日	区施設使用申請提出

※ 事務局だより ※

- お願い：冷房使用の季節となります。各教室代表の方は教室終了後、冷房のスイッチを必ずご確認下さい。（戸締り・忘れ物・ごみのチェックも！）
- 6月の変更教室について：英語教室は15日です。
- 講師会について：6月7日(木) 10時より

会場は第一会議室です。



事務所 TEL3801-5740 FAX3801-5691 営業時間：月～金 9時半から 16時まで
(ホームページアドレス) <http://www.arakawa-silver.com/> 室長・田原